



## 諮問事項1.

# 利用者負担額算定方式変更 の影響分析と階層の細分化

---

---

平成31年1月22日(火) 午後7時～  
於 国立市役所 1階 東臨時事務室



# 本日の内容

- 第3回（12/18）審議会内容のふりかえり
- 利用者負担額算定方式変更の影響分析
- 利用者負担額の階層区分の細分化
- 今後のスケジュール

## 1. 保育料（利用者負担額）の算定方式の変更

現在、所得税額に基づき算定している利用者負担額について、住民税額に基づき算定する方式に変更する。

## 2. 保育料（利用者負担額）の階層区分の細分化

財政健全化の取組方針・実施細目において特筆されている「保育料の高所得者層の階層区分を細分化する見直し」を行う。



# 1. 第3回(12/18)審議会のふりかえり

## ○委員のみなさまからのご意見

### 算定方法(ア～ウの各モデル)について

- (あくまで現行の利用者負担額に基づく試算ではあるが)現時点ではウ(審議会案)が計算の手間が生じるものの、より平等ではないか。
- 手計算の件数が少なくてすむイ(事務局案)が良い。ゆくゆくはア(国モデル)になるとしても、経過措置としても、イが良いのでは。
- 算定方式の変更によって増減の生じる世帯があるのは事実。増減の有無に関わらず、保護者が平等・公平と感じられる方向性を目指したい。
- 子育て世帯である保護者代表の審議委員の意見を大切にしたい。



## 2. 移行方式の検討 フローチャート

移行方式の検討



A: 現行の分布を維持して階層決定

ア: 国モデル  
年少扶養控除(国モデルは子ども2人想定)を考慮して変換  
(階層区分に年少扶養控除を反映)

B: 一定の変換式にあてはめて現行の  
所得税の階層を住民税階層に変換

イ: 事務局案  
ア(国モデル)をベースとし、多子世帯(子ども2人+ $\alpha$ 分)  
の年少扶養控除を考慮して変換  
(階層区分に年少扶養控除を反映)

ウ: 審議会案  
年少扶養控除を考慮しないで変換  
(年少扶養控除は、各保護者の所得を表に当てはめるときに  
全件手計算)



### 3. 利用者負担額の階層区分の細分化

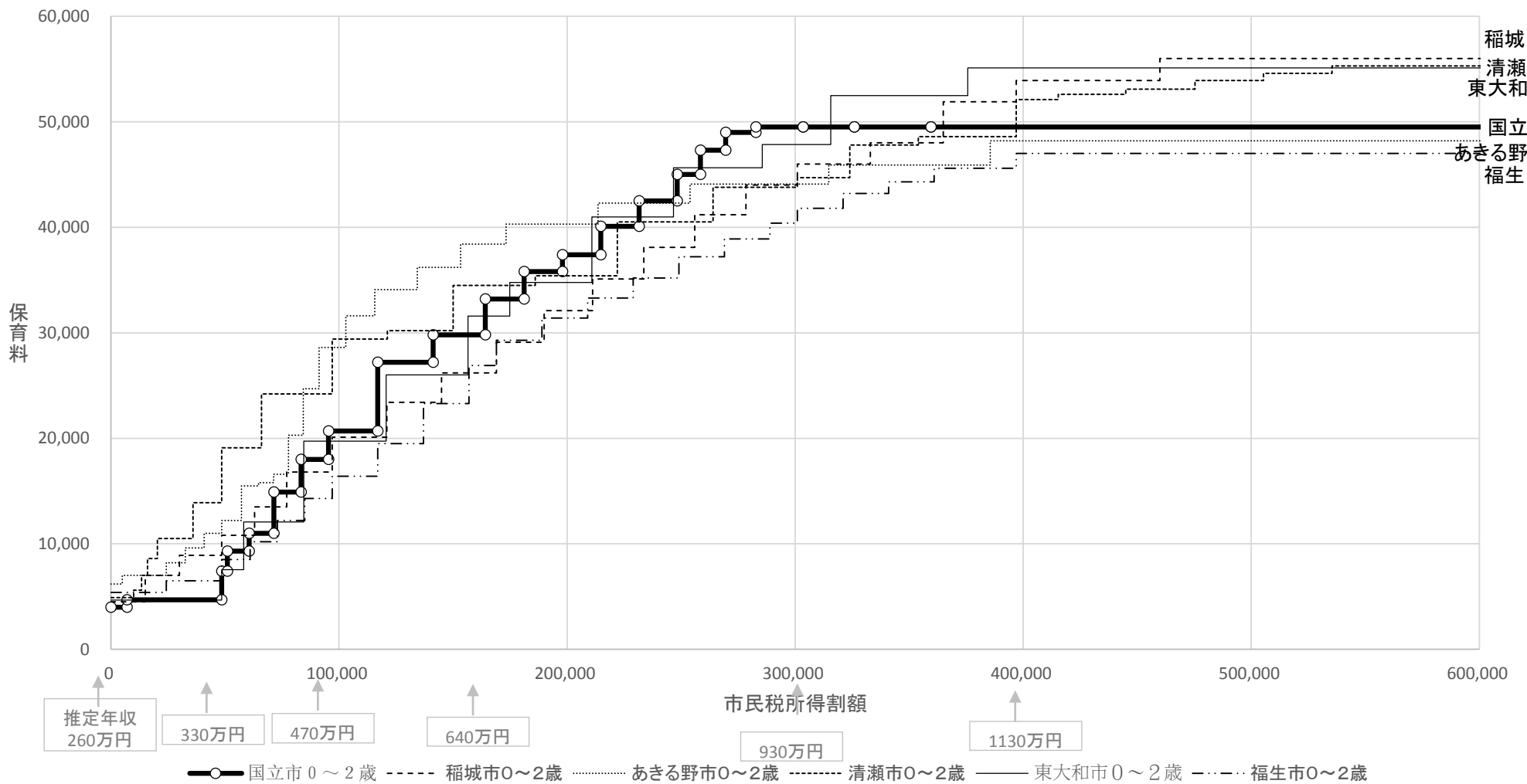
#### ○現状と課題

- 現在の保育料所得階層は、所得税課税世帯については、D1～D20に分かれているが、そのうちD17～20においては、階層を分けているものの、利用者負担額が同一額の設定である。
- また、高所得者層での利用者負担額は他市と比較して低い状態。
- 応能負担の観点から、高所得者層の階層については、見直すべき課題となっている。平成26年度審議会においても、委員から指摘があった点。



# 3. 利用者負担額の階層区分の細分化

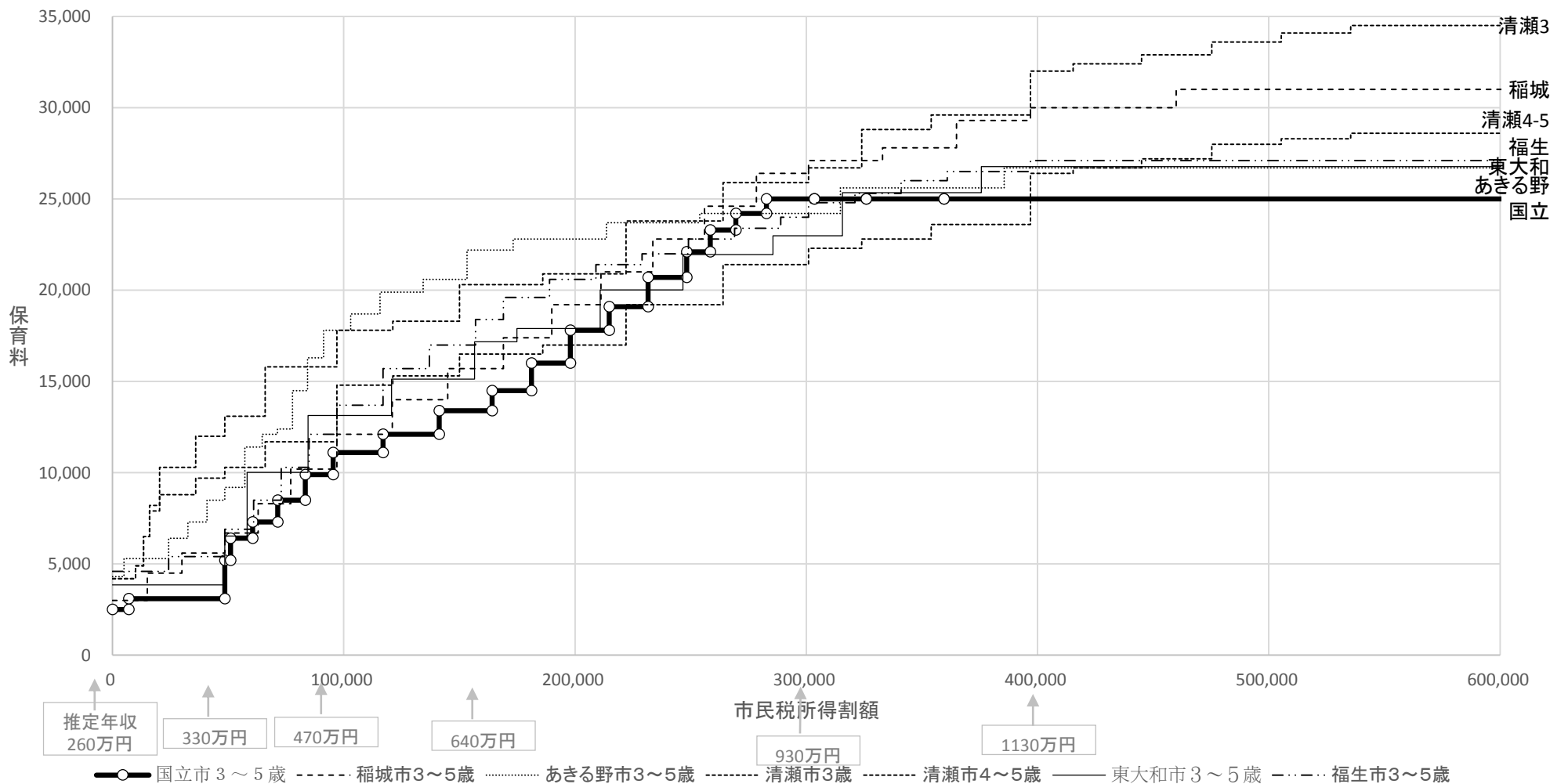
類団市保育料階層(2歳以下)





# 3. 利用者負担額の階層区分の細分化

類団市保育料階層(3歳以上)





# 4. 利用者負担額の算定方法の変更及び 階層区分の細分化の整理



今回の議題です

- 高所得者層の階層区分の細分化や全体のバランスを考慮して試作いただいた利用者負担額表をもとに、各モデルを試算し、影響の分析や課題を検討する。
- 算定方式の変更方法について、審議会としての意見を集約し、方向性を整理する。



## 5. 利用者負担額表の改定案の試作

- 竹内副会長にご作成いただいた、利用者負担額表の改定案について、試算版の概要やこれまでの課題に対する改善点等をご説明いただきながら、全体で共有する。
- 試作版の課題や懸念等、委員からご質問をいただきながら、さらに審議を要するかどうか、確認し、整理する。

# 6. 審議委員の皆様へ審議いただきたい点

## ③



### 次回審議にむけたご意見・要望

- 今回の審議内容について、お感じになったことや疑問に感じたことをお教えてください。
- 今回の審議内容をふまえ、次回の審議会に向けて、事務局に準備してほしい資料やご要望等があればお教えてください。



# 7. 算定方式変更の課題

第5回目の議題です

## ○算定方式変更の影響分析と整理

- 今回の審議会内容を踏まえ、算定方式を変更した場合の利用者（保護者）及び市の負担増減の整理

## ○利用者負担額の階層区分の細分化

- 利用者負担額表の試作案をもとに、実態に即した内容となっているかを検討する



# 8. スケジュール(保育審議会開催日程)

平成30年度 国立市保育審議会日程及び主な審議内容

審議会	開催日	主な審議内容
第1回審議会	平成30年8月28日(火)	審議会の運営について ・概要説明:新制度と保育料(利用者負担額)について ・国立市の保育料について ・他市の状況について 算定方式:①課題と分析
第2回審議会	平成30年10月16日(火)	保育料(利用者負担額)の審議 算定方式:①課題と分析 ②方式の検討
第3回審議会	平成30年12月18日(火)	保育料(利用者負担額)の審議 算定方式:②方式の検討 ③激変緩和等
第4回審議会	平成31年 1月22日(火)	保育料(利用者負担額)の審議 算定方式:③激変緩和等 階層区分:①細分化の分析
第5回審議会	平成31年2月下旬	保育料(利用者負担額)の審議 階層区分:①細分化の分析 ②細分化の検討
平成31年度 開催(予定)		
第6回審議会	平成31年4月上旬	保育料(利用者負担額)の審議 階層区分:②細分化の検討 ・全体の総振り返り、答申作成に向けた確認
第7回審議会	平成31年4月下旬	答申について